

# 区分 : 製造C (生産システム全般)

## (サブタイトル) 生産システム革新マネジャー育成講座

### (開発した訓練の特徴等)

#### 訓練の内容:

生産システム革新マネジャー(管理職者)育成のための講座。  
俯瞰思考から問題・課題を発見し、全体最適の解決策を創出し、  
組織を動かして改革できる生産システム管理者を育成する。

#### 訓練の対象となる業種・職種等:

製造業全般の係長、課長、部長、工場長クラス及び候補者

### (受講のメリット)

生産システムの管理者として、問題発見・  
解決、課題達成に向けたものづくりの上流  
から下流までの「多くの知の引出し」を持つ  
ことができる。  
各科目に事例と実践的な演習を取り入れ  
ることにより、受講者の理解が深まる。  
教育を通じた異業種交流により、新たな事  
業開発のコラボレーションの場を提供する。



### (実施した時の環境等)

訓練の内容: 生産システム革新マネジャー(管理職者)育成のための講座

募集期間 : 令和2年3月1日～4月20日

応募人数 : 20人

受講人数 : 18人(2名がキャンセル)

受講日時 : 令和2年6月12日～令和3年1月29日 (全15日間)

平日 隔週月2回(9:00～18:00)

受講料 : 無料

#### 社会人受講生のための配慮:

やむを得ない理由により欠席した場合は、当日の資料を送付し、次回できる  
限り講師が補填をしたり、質問を受けたり等の対応をした。

# 区分：製造C(生産システム全般)

## (訓練を実施する上で注意する点)

### 訓練の内容:

- ・ 製造業の管理職及び、ものづくりに関する集合教育の経験がある講師が必要。
- ・ 理解力を高めるために、チーム演習を取り入れる。
- ・ 演習については、自社のテーマを取り入れることにより、より実践的なものとする。

### 訓練時間数:

- ・ 1日の時間数は多くても、回数(日数)を少なくした方が、参加しやすい(業務に支障がない)ようだ。
- ・ 又、業務上毎週の参加は難しいので、多くて月2回(隔週)が限度のようだ。
- ・ 平日実施の要望がほとんどだった。

### 訓練を実施する上で推奨される取り組み事例

- ・ 演習結果の発表の場を設け、講師が講評することにより、意欲や理解力の向上に繋がった。
- ・ 科目毎の成績表を作成したり、修了式で修了証書を授与することにより、達成感や今後への意欲向上に繋げる。
- ・ 科目毎にアンケートを実施し、次回(次年度)の講座に反映させる。



## (受講者等からの声)

- ・ 群馬でこのような幅広い製造業の管理職者教育を受けられることは、大変ありがたい。
- ・ 本当に勉強になることばかりでした。1つでも多くのことを実践して、良い会社にしていきたいと思います。
- ・ 自分自身が成長する上で、知の引出しを増やすことができたと思います。

## (受託事業者) 中央総合教育サービス株式会社

### (詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/program\\_development\\_text.html#manufacturing](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#manufacturing)

厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)